TIT食農だより

発行元: 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所:〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL: 0532-44-6655 E-mail: info@recab.tut.ac.jp

2024年1月15日 No.94



修了式(第12期生 来賓・学長・スタッフと)

東海地域の6次産業化推進人材育成 の修了式

1月12日(金)、6次産業化推進人材育成プログラムの修了式が行われ、寺嶋学長から修了生7名(欠席1名除く)に修了証書と「6次産業先導士」の称号が授与されました。続いてプログラムを通じて優秀な成績を修めた方、ビジネスプランの最優秀賞、優秀賞とオーディエンス特別賞が表彰されました。学長式辞を受け、藤浪和香さんが答辞を述べました。

- ◆成績優秀賞:藤浪 和香さん
- ◆ビジネスプラン 最優秀賞:藤浪 和香さん プラン名:香り産業 ホーリーバジルを使用し た商品開発
- ◆ビジネスプラン 優秀賞:谷口 慎也さん プラン名:玄米甘酒で地球環境と小規模農家を 持続可能に
- ◆ビジネスプラン オーディエンス特別賞:久保 彰広さん

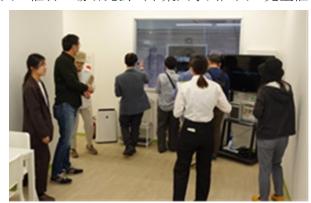
プラン名:燻製で新ブランド

(文責:前田紀子)

最先端植物工場マネージャー11期生が 県外視察研修を行いました!

11月9日(木)から11月11日(土)まで、最先端植物工場マネージャー11期生を中心に、県外の先進農業視察研修として、千葉県、茨城県及

び栃木県における植物工場や先端施設園芸、有機農業栽培状況等を計10名の参加者で実施しました。視察先は、9日が、(1)特定非営利活動法人 植物工場研究会(千葉大学内)人工光型植



(1) 特定非営利活動法人 植物工場研究会視察



(2) 農業·食品產業技術総合研究機構視察

物工場:リーフレタス、イチゴ栽培状況等、(2)農業・食品産業技術総合研究機構:農研機構における植物工場の栽培試験:①トマトの作型試験、②パプリカの収穫試験等、③苗テラスにおける育苗試験状況等を視察しました。10日は、(3)有限会社大地(グランベリー大地):イチゴの栽培・経営状況、農園の最新施設では、韓国のGreen Teck社の、リフト式ベンチで栽培を行っていました。経営面積は、1.7ha、従業員70名、年間イチゴ狩り客80,000人で、PRIVA(環境管理システム)で温度、湿度、光、給液等を管理している状況を視察しました。(4)株式会社誠和:施設園芸において「試験、研究、教育、研修、視察」等の目的に



(3) 有限会社大地 (グランベリー大地) 視察



(4)株式会社誠和(アグリステーション誠和)視察



(5) 魚住農園視察

1,200㎡×5棟の施設でトマト、ナス、キュウリ、パプリカ等の栽培・試験状況を見学しました。なお、研修生は、ここで1~2年間研修を行い、費用は3食、部屋付きで年120~150万円ということでした。11日、(5)魚住農園(魚住 道郎氏※日本有機農業研究会 理事長)である魚住氏の有機栽培ほ場において、腐葉土作成、キャベツ、ブロッコリー、ナス、ズッキーニ、ホウレンソウ等の有機栽培状況を視察しました。以上、関東地域の様々な研究施設、先端植物工場や施設園芸の栽培施設や有機栽培ほ場を視察し、各見学場所では、多くの質問が熱心になされ、最新の栽培技術や経営等の知識を得ることができ、充実した3日間の研修となりました。

(文責:山内高弘)

12月市民講座で、クリスマスのフラワーアレンジメントを作成しました。

先端農業・バイオリサーチセンターでは、豊橋市と協力して一般市民や農業関係者を対象に、農業や植物に理解のある人材を育成する目的として、7月~3月の毎月第2水曜日 (18:30~20:00)市民講座を開講しています。本年度は、「有機農業の話」をテーマの中心に据えて行っています。また、年1回の特別イベントとして、12月の講座では、クリアスマスのフラワーアレンジメントの作成を行っております。本年度は、「花の教室リ・ブラン」小池稚佳子先生をお招きして、クリスマスリースの作成を行いました。当日は、18名



クリスマスリースの作成風景

の方が参加され、作り方の説明を受けた後、各自 作成に取り組みました。中には、初めてフラワー アレンジを作成される方もありましたが、先生か らの丁寧な個別アドバイスもあり、全員時間内に 作成することができました。参加された方から は、「家族に見せた後、早速飾りたい。」「来年 も、是非参加したい。」等、様々な意見が聞かれ ました。参加者の方々は、各自充実した時間を過 ごされたようでした。

(文責:山内高弘)